

第15回 あきたエコ&リサイクルフェスティバル報告書

- 1 開催日時 平成27年9月5日（土）、6日（日）10:00～16:00
- 2 開催場所 秋田駅前アゴラ広場、買物広場大屋根「ビックルーフ」
- 3 主催 あきたエコ&リサイクルフェスティバル実行委員会
【NPO法人環境あきた県民フォーラム、秋田県（事務局：生活環境部温暖化対策課）、秋田市、秋田大学、国際教養大学、（一財）秋田鉱業会、（公社）食品容器環境美化協会、（一社）秋田県産業廃棄物協会 計8団体】
- 4 来場者 約23,000人
- 5 協賛企業・団体数 34
- 6 出展企業・団体数 39
- 7 主なステージイベント
【1日目】第15回記念エコメッセージ、環境大賞表彰式、エコ実験パフォーマンス など
【2日目】Hi-Vol1 ライブステージ、超神ネイガーショー など
【両日】小学生によるエコ活動発表、出展ブースインタビュー など



『エコのわ 秋田に広げよう』



【産廃協会ブース出展】

9/5日～6日に秋田駅前アゴラ広場で行われたあきたエコ&リサイクルフェスティバルに、今年も出展しました。

当協会の取り組みを紹介するコーナーを設け、廃棄物の不法投棄防止活動のパネル展示や青年部協議会制作DVD「3.11を忘れない」の放映を行いました。

また、今年も「エコ体験コーナー」として電気の大切さを知ってもらおうと、「人力発電かき氷」（自転車型発電機のペダルをこいで発電した電力でかき氷をつくる）コーナーを設置し、自分が作ったかき氷は無料で食べられるという趣向も幸いしてか、子どもたちを中心に連日賑わいました。また参加児童からは「いっぱい汗をかいたけど楽しかった。自分で作ったかき氷はおいしい」とのコメントがよせられました。

当協会ブースの来場者は2日間で400人を超え、家族連れや学生など幅広い年齢の方がお立ち寄り下さいました。当日、ご来場下さった皆様、ありがとうございました。

平成25年から始まった「人力かき氷」ですが、今回行った来場者アンケートの「一番印象に残ったイベント・展示」で1位に選ばれ、これで3年連続トップとなりました。

秋田県産業廃棄物協会は環境保全に貢献する団体として、今後とも環境教育活動に積極的に取り組んでまいります。

【1日目の様子】



協会の取組【廃棄物不法投棄防止活動のパネル展示と青年部協議会制作DVD「3.11を忘れない」放映】



当協会ブース前は、子供たちの長い行列ができました。



【2日目の様子】



ホジナシ怪人も子供に好かれよう?!と必死にこいでます。(AABさんが取材に来てくれました)



開催2日間は、沢山の笑顔に出会いました。ご来場下さった皆様、ありがとうございました。

【新聞記事】

自転車こいでかき氷

秋田駅前 人力発電でエコ体験

省エネやリサイクルについて学などが各ブースで省エネや理解を深めるイベント「ありサイクル」などの取り組みを紹介。エコバッグ作りなど「ティバル」が5日、秋田市の体験コーナーを設ける企業やJR秋田駅前のアオラ広場や団体もあり、子どもたちの人気が集めていた。

このうち、県産業廃棄物協会の人力発電自転車型の人力発電機を設置。参加者はペダルをこいで発生させた電気でかき氷機を動かす。自分で作ったかき氷をおいしく食べていた。

聖霊幼稚園

ペダルをこいで人力発電でかき氷を作る参加者

園の平沢海人ちゃん(5)は「いっぱい汗をかいたけど楽しかった。自分で作ったかき氷はおいしい」と笑顔で話した。

(菊地隆秀)

魁新聞 9/6 掲載